

西宮市男女共同参画推進委員会  
令和4（2022）年度 第2回会議録

日時：令和5（2023）年1月23日（月） 午前10時00分～12時00分

場所：男女共同参画センター ウェーブ 411 学習室

●出席者

（委員）安東 由則、小川 真知子、奥野 明子、京藤 光江、  
原田 孝一、半田 まゆみ、柳井 徳子

（事務局）市民局 局長 大西 貴之  
人権推進部 部長 森山 毅  
男女共同参画推進課 課長 中島 貴子  
係長 松井 裕行  
副主査 田中 信行

こども支援局  
子育て支援部 部長 緒方 剛  
子供家庭支援課 課長 三桝 浩一  
係長 粕淵 真理子

●傍聴者 0名

●会議次第

1 開 会

2 議 題

- （1）男女共同参画プラン推進状況・評価報告書の追記・修正について
- （2）「性の多様性に関する取組の方針」に係る事業報告について
- （3）男女共同参画推進委員の任期満了等について

3 閉 会

## (1) 男女共同参画プラン推進状況・評価報告書の追記・修正について

### 【事務局の主な説明事項】

#### ◆男女共同参画プラン推進状況・評価報告書の推進委員からの意見・質問への回答

- ・重点施策 1 DV（DV対策基本計画）、性暴力の根絶
- ・重点施策 2 働く場における男女共同参画の推進
- ・重点施策 3 次世代に向けた男女共同参画の推進
- ・重点施策 4 男女共同参画の視点による防災・減災施策の推進
- ・重点施策 5 男女共同参画センターウェブの機能強化

### 【委員の意見等要旨】

○事業が多く意見がしづらいため、重点施策の中でも特に意見を求めているものを示して欲しい。

○重点施策 5 ウェブの機能や活動内容に関する周知について、プレラホールで開催された人権講演会で配布された資料にウェブでの展示について記載があったが、講演会終了後にでも司会者からアナウンスをした方がよかったと思う。

→人権フォーラムとして、講演会と展示会の一体的なイベント実施であったが呼びかけが漏れていた。人権フォーラムに限らず、他の場面でもアナウンスに努めたい。

○例えば北九州には男女共同参画センタームーブがあるが、情報交換や視察はしているのか。

→令和4年10月に西宮市議会民生常任委員会の方が北九州の女性活躍センターについて視察された報告を見て、先進市の取組を実際に見たいと思った。静岡市の生涯学習センターを視察した際に併設されている女性会館を視察したことがある。

○防災について、学校は避難所になるが性的マイノリティの方のことを考えると対応が不十分と感じる。子供達のためにも誰でも使えるトイレを作って欲しいと言っているがなかなか手が入らない。学校からだけでなく違う方面からも言って欲しい。

○高木北小学校が新設（2016年）された折に、男子トイレと女子トイレの間に多目的トイレが設置されたのが“誰でも使えるトイレ”設置のスタートだった。その後に改修している小中学校にも“誰でも使えるトイレ”が設置されている。できるだけ早く、全小中学校に設置されるようお願いしたい。

【後日確認】2010年の用海小学校増改築から多目的トイレを設置していく方針を出している。

○各事業の取組状況について、数値が記載されているものとされていないものがある。評価をする上でも必要なので可能な限り数値は記載して欲しい。

→市には様々な計画がありそれに付随して取りまとめているため、細かくまとめているものもあればそうではないものもある。調整できないか考えていきたい。

○審議会委員への女性の登用について、他市では目標値を設定しているが、西宮市はしないのか。

→審議会委員への女性の登用率は現在の男女共同参画プランでは目標値を設定していない。統計は毎年取っている他、委員選任の際は性別割合の均等に努めるよう市の指針に明記している。

→総務課が審議会の選任状況について年齢や性別に偏りがいないかを確認している。偏りがあれば理由

を述べる形でチェックしている。実際には専門分野によって偏りがあり、半々を目指してはいるが難しい。また男女という言い方ではなく、片方の性別に偏らないという標記に変わっている。  
→過去には女性の登用率 30%という目標値を設定していた。目標値がないというよりは見方を変えて方向性が変わってきていると感じている。

○性別に偏りがある審議会について、分野によってなり手がいないことを理由にするのではなく、ポジションに置いて育てることを意識しなければならない。まずは人口比率を意識して性別を半々にすることが必要ではないか。

○次のステップとして多様性の考え方を進めていくと、性別を半々にすることにどんな意味があるのかということにたどり着くと思う。性別は自分を説明する一つの要因でしかないが、それに非常にバイアスがかかっているのが現状。まずは性別を半々にすることを目指し、次のステップは多様性ではないかと思う。

○防災減災に関する啓発冊子を作成しているとのことだが、発行数と配布場所を教えて欲しい。

→発行は 5 千冊を予定している。配布場所は公共施設の他、啓発冊子のテーマによって関連機関に配布する。今回は防災減災をテーマにしており、自主防災会へのインタビューを実施したのでそちらへの配布も予定している。

○男女共同参画センターウェブにはいい資料室があるが、ウェブを知らない学校現場の教師も多い。初任者研修などの集まりでウェブの学習室を利用してもらうことが周知に繋がると思う。

○学校の集まりなどでウェブの学習室を利用してもらってもいいと思う。

## **(2)「性の多様性に関する取組の方針」に係る事業報告について**

### **【事務局の主な説明事項】**

#### **◆「性の多様性に関する取組の方針」に係る事業報告**

- ・パートナーシップ宣誓証明制度（R3（2021）.4.1～）取組状況
- ・性的マイノリティ電話相談
- ・当事者への配慮を含む環境整備の検討・実施
- ・講座・講演会の実施状況
- ・職員研修・ガイドライン作成
- ・啓発リーフレット等作成
- ・市民や企業等への情報発信
- ・学校教育における取組への支援

### **【委員の意見等要旨】**

○パートナーシップ宣誓証明制度について、阪神7市1町以外とは協定締結をしないのか。

→他市町から協定締結の意思表示があれば拒否することはない。

○兵庫県がパートナーシップ制度を導入すれば助かる町もあると思う。

○市民や企業等への情報発信について、各会社のトップの方が危機感を持たないと下に降りていかない。西宮商工会議所と連携して講演の実施や、総会や部会などで話をする機会があればいい。

- 企業との連携が弱いと感じる。
- 西宮青年会議所では40歳までの若手経営者も多い。毎月テーマを決めて例会を実施しているのでそちらにも声を掛けてはどうか。
- 当事者への配慮を含む環境整備について、性別記載欄の見直しについて具体的に教えて欲しい。  
→市で発行している性別記載欄があるものについて、事業や統計に必要な場合を除き、性別記載欄の削除又は男女二択以外の選択肢を設ける等、記載方法の見直しを行った。
- 学校教育における取組への支援について、要望があった学校に行っているのか。  
→要望があった学校に行っている。
- LGBTQに関しては各学校でも独自に取り組んでおり、実際にはもっと多くの生徒や教員が勉強している。
- 全体としての実態が見えづらい。
  
- 職員研修について、任意では受けて欲しい人に受けてもらえない問題が残る。どこの部署が受けていないかを把握し、定期的に受けさせる仕組み作りが必要。

### **(3) 男女共同参画推進委員の任期満了等について**

#### **【事務局の主な説明事項】**

- ◆任期満了に係る改選等の説明

#### **【委員の意見等要旨】**

- 就任した当時、阪神間で西宮市の中学校だけ男女混合名簿になっていなかったが、私の任期中には是非とも実現したいという思いがあった。この会で男女別名簿は人権問題であるとして話し合い、混合名簿が実現した。今後、男女混合名簿になってどのように意識が変わっていくのか見守っていききたい。また、多目的トイレや制服の選択制についても着実に学校現場で進んでいることは嬉しい限りである。
- 市政ニュースで公募委員を知り応募して委員になることができた。新たな視点でものをみることができ、私が知らない活動についても知ることで貴重な経験だった。
- 学校現場でも人権教育に取り組んでいるが、ここで聞いた視点を私だけでなく様々な学校に広げていきたい。
- 会社だけでは分からない情報を沢山いただいた。また西宮市の取組について全体的に見ることができた。
- 管理職に求められるダイバーシティマネジメントという具体的なことを講座にしてアーカイブで視聴できるのは素晴らしい。あとは商工会議所や青年会議所にどのように持っていくかだと思う。
- ウェブ主催講座の参加者の半数が40代、50代だが、その世代は様々な形でウェブを必要としている人だと思う。その世代に届いているのは何が問題なのかという視点で取り組んでいるからだと思う。
- 女性活躍推進をまだしているのは遅れているという感覚だと思う。もう一歩先に行けるように西宮市としても頑張ってもらいたい。